

データ利活用シンポジウム

AI時代の データ利活用

参加無料

オンライン配信あり

現場で
活かす
仕組みと
人の役割

令和8年
2026
11月26日 木

13:30-16:30 開場 **12:30**

和歌山城ホール 展示室(1階)

和歌山県和歌山市七番丁 25-1

栗原 聡氏 慶應義塾大学理工学部 教授／人工知能学会 前会長・顧問

小野 亮氏 みずほ総合研究所 調査部 プリンシパル

椿 広計氏 学校法人昭和女子大学 理事長

宮崎 泉氏 和歌山県知事

登壇者

参加方法

どなたでも
参加できます

申込締切

11月10日 火

①現地参加 ▶ 定員120名 先着順

②オンライン視聴 ▶ 定員無

■ 申込についての問合せ先

株式会社テレビ和歌山

(本シンポジウム運営受託業者)

TEL : 073-455-5721 (10:00~18:00 ※土日祝不可)

URL: <https://datasympo2026.telewaka.tv/>

申込フォーム



主催

総務省、独立行政法人統計センター、和歌山県

後援

関西広域連合、(一社)日本統計学会、(一財)日本統計協会、(公財)統計情報研究開発センター

基調講演 / パネルディスカッション パネリスト

栗原 聡氏

慶應義塾大学理工学部 教授／人工知能学会 前会長・顧問



慶應義塾大学共生知能創発社会研究センター センター長。博士（工学）。NTT 基礎研究所、大阪大学、電気通信大学を経て、2018年より現職。

科学技術振興機構（JST）さがけ「社会変革基盤」領域統括。オムロンサイニックエックス社外取締役、（一社）日本DX人材アセスメント機構代表理事、（一社）匠和会代表理事、総務省情報通信法学会研究会構成員など。

マルチエージェント、複雑ネットワーク科学、計算社会科学などの研究に従事。

著書に『AIにはできないー人工知能研究者が正しく伝える限界と可能性』（角川新書）、『AIの倫理人間との信頼関係を創れるか』（角川新書）など多数。

特別講演 / パネルディスカッション パネリスト

小野 亮氏

みずほ総合研究所※ 調査部 プリンシパル

※「みずほ総合研究所」は、株式会社みずほ銀行内のシンクタンクです。



1990年東京大学工学部電気工学科卒業。

同年、銀行系シンクタンクに入社、官公庁等に対するリサーチコンサルティング業務に従事。

1997年よりマクロエコノミストとして分析業務に従事。専門は米国経済・金融政策。

2022年11月のChatGPT公開以降は、プロンプト事例の共有やカスタムGPTの開発・公開などを通じて若手ビジネスエコノミストの生成AI活用を推進。

2023年、みずほフィナンシャルグループの「みずほ生成AIアイデアソン」で優秀賞受賞。

総務省統計局オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」講師。

パネルディスカッション コーディネーター

椿 広計氏

学校法人昭和女子大学 理事長



東京大学工学部計数工学科（工学博士）、専門は応用統計学。東京大学工学部助手、慶應義塾大学理工学部講師、筑波大学大学院ビジネス科学研究科助教授・教授、統計数理研究所教授、（独）統計センター理事長、情報・システム研究機構統計数理研究所長を経て、2026年4月から現職。

応用統計学会会長、日本品質管理学会会長、品質工学会会長、統計関連学会連合理事長、総務省統計委員会委員長等を歴任。現在は横断型基幹科学技術研究団体連合会長、日本自殺総合対策学会理事長、（一社）新情報センター会長などを兼務。

パネルディスカッション パネリスト

宮崎 泉氏

和歌山県知事



1982年大阪大学人間科学部卒業。同年4月和歌山県採用。

商工観光労働部企業政策局企業振興課長、総務部総務管理局人事課長、知事室長等を歴任。

2019年に退職後、和歌山県教育委員会教育長、和歌山県副知事を経て、2025年6月より現職。

プログラム

13:30 開会・主催者挨拶

13:50 【基調講演】栗原 聡氏

「更なるAIの進展はデータ利活用をどのように変容させるのか？」

14:40 【特別講演】小野 亮氏

「AI活用と人材育成～ビジネスエコノミストの経験から」

15:20 【パネルディスカッション】

「AI時代のデータ利活用～現場で活かす仕組みと人の役割～」

コーディネーター：椿 広計氏

パネリスト：栗原 聡氏、小野 亮氏、宮崎 泉氏

16:30 閉会



総務省統計局イメージキャラクター

和歌山県PRキャラクター「きいちゃん」

データ利活用シンポジウム

AI時代のデータ利活用

（現場で活かす仕組みと人の役割）